

## 台風第12号への対応に関する検証会議（第2回）について

### 1 検証会議の内容

先般の台風第12号への対応において様々な課題が明らかとなったことを受け、次のとおり特に被害が大きかった岡山市、倉敷市及び玉野市と2回目の検証会議を開催した。

- ・開催日時 平成23年10月25日（火）
- ・参加自治体 岡山市、倉敷市、玉野市、岡山県

### ○3市と県から提出された対応策・今後の取組等

課題・要望等	対応策・今後の取組等
防災配備体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7,000件以上の電話で災害対策本部へ繋がらないこともあった。電話回線の適正化等が必要だ。（岡山市）</li> <li>・大規模災害時には国・県等の共同チーム作るなどの連携強化・体制強化が必要だ。（岡山市）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・問い合わせが集中し対応に追われた。災害対策本部の体制強化が必要だ。（倉敷市）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水防本部の電話番号や避難勧告、避難指示とは何かについて、11月の広報誌に掲載し住民への周知を図る。</li> <li>・本庁の災害対策本部等は、24年度の早い時期に耐震化されている保健福祉会館に移転予定であり、災害対策本部室等の体制強化を検討している。また、電話回線を増設する。（岡山市）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の増を図ったが休日で集合に時間を要した。職員体制を見直す必要がある。（玉野市）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民からの問い合わせ用と災害対策本部用とで電話回線を分ける必要がある。</li> <li>・職員招集をスムーズに行うため、連絡体制の見直しや研修訓練が必要だ。（倉敷市）</li> <li>・緊急時において初動体制が取れるよう、班ごとに職員を指定することを検討中である。</li> <li>・災害対策本部体制は現在2班体制だが再度見直し、活動しやすい体制への編成等を進めている。（玉野市）</li> </ul>
情報収集等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民局からの職員派遣をお願いしたい。（岡山市、倉敷市、玉野市）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員配置等の再整備を図ってなお情報伝達等が困難な場合が発生したときは、県民局長の判断で県民局等職員を派遣し、情報把握、県民局との連絡調整、システム入力支援等を行う。（県）</li> </ul>

課題・要望等	対応策・今後の取組等
<p>情報収集・伝達体制の在り方等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話対応や情報確認等のため入力が遅れた。担当者の増が必要だ。(岡山市、倉敷市)</li> <li>・現場対応で人員をとられたり、確認に時間を要し、本部に情報が伝達するのが遅れた。(倉敷市、玉野市)</li> <li>・各市において、当時の人員配備を検証し、システム入力迅速に行える体制の構築を検討されたい。(県)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も早い段階で消防防災ヘリからの情報提供をお願いしたい。(倉敷市)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接市の道路情報等がないため問い合わせに苦慮したので、道路情報提供について検討願いたい。(玉野市)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県総合防災情報システムが10万件を超えるアクセスのため新規接続ができなくなった。(県)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム入力のため専門の入力担当者を配備したい。(岡山市、倉敷市)</li> <li>・災害対策本部に情報収集専任者を置いたり、市内を巡回するパトロール隊を編成するなどして積極的に情報収集に当たる体制とする。(倉敷市、玉野市)</li> <li>・協定を結んでいる岡山国道事務所等の協力を得ながら情報収集が図れるような体制を整えたい。(玉野市)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防防災ヘリについては、天候等の問題を除きできるだけ活用し、情報提供に努める。(県)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直轄国道と岡山市内を除く県管理道路の通行規制情報は、県道路整備課のHPに掲載しており、更に詳細な情報は問い合わせ願いたい。また、岡山市管理の国道・県道については、同市に確認願いたい。(県)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直ちにプログラムを改修するとともに、システムのアクセシビリティ向上に向けて検討し対応できるものから実施する。(県)</li> </ul>
<p>避難勧告等の発令等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難勧告発令に対し実際の避難者が少なかったのは、次の理由が考えられる。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>①比較的被害が少ない地域のため、地震やダム放流、大津波以外は自宅が一番安全との認識が高い。</li> <li>②いつ、何のため発令されたかを認識していない。</li> <li>③発令に対しどうすればいいかわからなかった。</li> <li>④笹ヶ瀬川等の越水状況について過去の経験から破堤しないとの自己判断を行っている。(岡山市)</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットの配布や出前講座、災害種別ごとの避難所の見直しの後に予定している96学区地区地元説明会において、市民への啓発等を行う。(岡山市)</li> </ul>

課題・要望等	対応策・今後の取組等
避難勧告等の発令等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難勧告発令時の行動など市民へ周知する必要がある。(倉敷市)</li> <li>・全域に避難勧告を出したことへの問い合わせ等があった。勧告の意味合い等を周知していく必要がある。</li> <li>・広報車の広報等では十分でないためエリアメール等、情報発信の方法を検討したい。(玉野市)</li> </ul>	対応策・今後の取組等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座や広報誌を通じて市民の理解を深める。また、市民への情報伝達手段は複数準備する。(倉敷市)</li> <li>・10月、11月の広報誌で避難や防災メールについて啓発を行う。</li> <li>・11月からNTTドコモのエリアメールによる配信を行い、他社についてもサービス開始後には導入を検討する。(玉野市)</li> </ul>
避難所 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各市において、避難所の指定、開設時の運営等の検証と改善の検討をされたい。(県)</li> </ul>	対応策・今後の取組等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害種別(洪水、地震、津波)ごとに避難所の指定を行う方針であり、民間施設との防災協定も視野に入れ検討中だ。(岡山市)</li> <li>・避難所の運営について、職員配置はもとより、自主防災組織等の協力が得られるようにしたい。(岡山市、倉敷市)</li> <li>・市内の私立大学を避難所に指定している。また、民間業者の管理地を一時避難場所とすることなどを検討中である。(倉敷市)</li> <li>・避難所の指定のため、東日本大震災を受け来年6月に発表されるデータを基に、災害種別ごとに防災マップを作成する予定だ。(玉野市)</li> </ul>
水防活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県管理河川の早期整備、大規模浚渫等をお願いしたい。(岡山市)</li> </ul>	対応策・今後の取組等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・笹ヶ瀬川や足守川での越水箇所については緊急的に局所的な堤防かさ上げを行うとともに、引き続き早期改修に努めたい。</li> <li>・河道を阻害する樹木の伐採や浚渫についても「ふるさとの川リフレッシュ事業」等により実施しており、引き続き、緊急性・重要性を勘案し取り組みたい。</li> <li>・重大な被害については、建設業者へ依頼する応急対策業務で万全を期したい。(県)</li> </ul>

課題・要望等	対応策・今後の取組等
<p>水防活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県総合防災情報システム上の表示は堤防高まで余裕があり水防団待機水位が低いとの意見があるため、システムの河川断面表示の工夫や水位警報発令の基準水位を検証願いたい。また、早期解除タイミングを検討してほしい。(岡山市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ システムに表示する河川断面を危険箇所の断面とすると混乱を招くおそれがあるため、水位観測所地点の断面としているが、余裕があるように見える箇所もあるため、今後よりわかりやすい表示方法等について検討したい。</li> <li>・ 水防警報の発令根拠となる河川の基準水位は、河川の危険箇所や過去の洪水の実績、リードタイムを勘案して設定しているが、状況の変化等、必要に応じ見直す。</li> <li>・ 水防警報の解除は、河川の水位低下はもちろんだが、降雨状況や上流の水位、潮位等の影響を総合的に勘案して決定し、一律に水位のみで行っていない。(県)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 百間川河口の水門等へ河川監視カメラの設置等を検討願いたい。(岡山市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 百間川河口水門の開閉状況について、水門内外の水位情報は国のホームページに掲載されているが、よりわかりやすいようカメラなどを利用した水門開閉情報の提供の要望を国へ伝え協力を求めたい。(県)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内水の氾濫を防ぐため、ため池、遊水池、貯水池等の水位管理を事前に調整するネットワーク体制の検討が必要だ。</li> <li>・ 県管理樋門、水門の管理体制強化と、現地への職員派遣等応援体制をお願いしたい。(玉野市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 異常気象時の樋門、水門の管理は潮位や降雨に応じきめ細かく開閉操作を行うよう引き続き適切な管理に努めるが、地域の事情に精通している市による操作について協議したい。また、水防体制時における宇野港海岸管理班については、備前局本庁舎からの応援を含めた体制強化を検討している。(県)</li> </ul>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハザードマップの危険箇所が最新データに更新できていなかった。(倉敷市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハザードマップを毎年印刷することは困難だが、ホームページのデータは最新のデータに更新する。(倉敷市)</li> </ul>

## 2 今後の予定

2回の検証会議を通じて、課題等が明らかになるとともに、各市・県において検討がなされ順次改善に取り組んでいる状況が示された。今後は課題ごとに関係する部署で協議を重ねる等により改善を図っていくこととし、一定の方向性が得られた時点において、あらためて全体的な取りまとめを行うこととする。